

新たな生育政策と直面する問題について

国際文化学部国際文化学科

3年 13011001 阿武美波

先月、中国政府は長年続けてきた「一人っ子政策」を撤廃すると正式に発表した。新しい生育政策によれば、今後は各夫婦は子供を二人産むことができるようになったわけであるが、はやくもこの政策に対してたくさんの意見が出ている。今回は「一人っ子政策」が撤廃された後の中国について以下の3点で考察していきたい。

- 1、「一人っ子政策」撤廃の理由
- 2、新しい生育政策の障害
- 3、人権問題について

1、「一人っ子政策」撤廃の理由

前回のレポートでも述べたように今まで行ってきた「一人っ子政策」が与えた影響はとて大きかった。その中でも最近問題視されてきたのが、中国の「超高齢化」と労働人口の減少である。北京大学の専門家によると、2035年までに中国は2人の現役労働者が高齢者1人を支えなければいけない「超高齢化社会」に突入するとコメントしている【注1】。

また、このような状態になると中国経済は大きな打撃を受けることが懸念されている。今回中国政府が「一人っ子政策」を撤廃した理由は中国が今後も安定した成長を維持するためであるとされている。中国共産党が2015年10月26日から29日までの4日間にわたって開催した「5中全会」では、来年以降の経済政策の基本方針となる新たな5ヵ年計画について討議された。この「5中全会」での結果、経済面において個人消費が主導する経済への転換を目指し、2020年までにGDP（国内総生産）と国民の平均収入を2010年の2倍にする目標を打ち出した。この目標を実現するために大きな政策転換をしなければならなかったのである。

2、新しい生育政策の障害

今回中国政府が発表した新しい生育政策は、各夫婦が子供を産む際には2人まで産むことができるというものであるが、この政策に対して早くもいろんな意見が飛び交っている。そのなかでも特にこの政策では未来の中国が直面する危機を打開するには障害があるという意見が多かったので、①政策効果面での障害、②経済面での障害の二つにまとめてみた。

①政策効果面での障害

新しい生育政策があまり効果がないものではないのかという意見が出るのには、原因がある。その一つは中国社会では働く女性が進出してきたからである。すでに現在の中

国では、特に裕福で高学歴の女性たちにおける出生率が低い。またもう一つは生活様式の変化や中国の都市部では子育て費用が大きく、2人の子供を持ちたいとは思わない夫婦も少なくない。ある記者は、中国社会では一人っ子家庭が当たり前のものとされてきたため、今後も2人目を作らないというカップルが多いのではないかとみている。

実際に中国政府が2年ほど前から徐々に政策を緩和し始め、夫婦の少なくとも片方が一人っ子の場合は2人目の子供を持つことを容認するようになっていたし、地方の最貧困地域では既に2人目の子を持つことが認められている。しかし、今回このような結果が出てしまったということは、今回完全に一人っ子政策を撤廃してもあまり大きな成果がでるとは思えない。英イーストアングリア大学ノリッジ医学部のアナ・スマジダー氏（医療倫理）は「高齢化する中国の人口バランスが出産制限の緩和によって是正される可能性は低い」とコメントしている【注2】。

②経済面での障害

前述したように中国政府が今回長年続けてきた一人っ子政策を撤廃した理由の一つに労働人口の減少というものがある。これは今後の中国の経済成長にとっては大きな痛手である。一人っ子政策に先立って発表された国連の予測によれば、中国では2015年～2030年に15歳～59歳の人口が約9%減少する見通しである【注2】。この予測からみると労働の即戦力である若年層が減る。そのうえ、高齢化するのであればこれは中国の経済成長に大きな影響が出るであろう。生まれた子供が労働人口の高齢化に歯止めをかけられる年齢に達するのは最短でも15年後である。

スペイン・バルセロナ近郊を拠点に活動するフリーのエコノミスト、エドワード・ヒューによると、長期的に見て経済生産力を向上させる方策は労働人口の増加と生産性の向上の2つであり、それをふまえた上で政策改善に大きなタイムラグがあるとコメントした【注2】。つまり、経済面で何らかの効果が出るまで中国は15年間の経済成長を犠牲にしなければならないということである。

3、人権問題について

「一人っ子政策」が生み出した問題は、高齢化社会や中国経済成長の停滞だけではない。それは人権問題である。「一人っ子政策」が撤廃されるまでは、最近では規制緩和などがあったものの、以前は女性に中絶を強要するなどという厳しい罰則があった。また、調べてみると男尊女卑が根付いていた中国では、一人しか作れない子供が男の子であるように望まれてきた。そのため戸籍に残す子供が男児になるように様々な対策が施され、「黒孩子」と称する戸籍上認識されない女兒も数多く存在するという【注3】。

こういったふうに中国政府が国民に子供を一人しか産んではいけないと強要することで人権上たくさん問題が発生していたのである。今回「一人っ子政策」が撤廃されたからといって、中国国民の人権問題が解決されるわけではない。産める子供の人数が2人までと決めている時点で人権を侵害していることになるからだ。世界で一人っ子政策の廃止が

冷やかに受け止められているのは、多くのメディアが人権上の問題が解決されていないとみているためである。

【注】

(1) 産経ニュース 中国、一人っ子政策を完全撤廃へ 超高齢化社会突入を控え 中国メディア

<http://www.sankei.com/world/news/150711/wor1507110029-n1.html> (2015.10.25 閲覧)

(2) AFP BB NEWS 中国の「一人っ子政策」廃止、経済成長効果は見込みなし？ 専門家

<http://www.afpbb.com/articles/-/3064858> (2015.11.8 閲覧)

(3) YAHOO! JAPAN ニュース 一人っ子政策撤廃の行方 --- 岡本 裕明

<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20151102-00010006-agora-int> (2015.11.8 閲覧)

【参考文献】

(1) NHK NEWS WEB 「一人っ子政策」廃止 成長維持へ政策転換

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20151030/k10010287661000.html> (2015.11.8 閲覧)

(2) YAHOO! JAPAN ニュース 中国が一人っ子政策を廃止へ 2人目を正式容認

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20151030-34674253-bbc-int> (2015.11.8 閲覧)

(3) Bloomberg.com 中国の一人っ子政策廃止、「遅過ぎる」との声もー効果に疑問符

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-NX0SSD6TTDSDG01.html> (2015.11.8 閲覧)

(4) YAHOO! JAPAN ニュース 中国がついに一人っ子政策を廃止「最悪な自由侵害」が終焉を迎えたとはいえ…

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20151109-00000505-san-cn> (2015.11.9 閲覧)